



たねがいは
多鯰ヶ池



とっとりさきゅう
鳥取砂丘



らっきょう畑

山陰海岸ジオパークが 「世界ジオパーク」に!

鳥取市・岩美町・新温泉町・香美町・豊岡市・京丹後市の6市町および鳥取県・兵庫県・京都府の3府県と民間団体が構成する「山陰海岸ジオパーク推進協議会（平成19年7月設立）」は、山陰海岸ジオパークを国連教育科学文化機構（ユネスコ）が提唱する「世界ジオパーク」に認定されるよう、様々な活動を続けてきましたが、10月3日（現地時間）にギリシャで実施された世界ジオパークネットワーク会議において、山陰海岸ジオパークが、洞爺湖・有珠山、糸魚川、島原半島に続く日本で4番目の世界ジオパークとして認定されました。

ジオツーリズムを通じて

ジオパークは、地球活動の営みが身近に体験できる、科学的に見て重要で貴重な自然公園のこと。地質遺産を保全しつつ、地球科学の普及に利用するなど、観光利用の対象とするジオツーリズムを通じて地域社会の活性化を目指す取り組みで、ユネスコの支援のもと、主にヨーロッパや中国で積極的に取り組まれています。

今回、世界ジオパークに認定されたのは、日本国内では山陰海岸ジオパークだけで、海外では、韓国の済州島、中国の樂業、寧徳、イタリアのチレントおよびヴァッロ・デイ・ディアーノ国立公園など、新たに11の地域が認定されました。これにより世界ジオパークネットワーク加盟地域は25カ国77地

域になりました。

地元住民の活動を高く評価

本年8月1日～4日に行われた世界ジオパークネットワークの審査員による現地審査では、山陰海岸ジオパークを代表する観光地である鳥取砂丘や、玄武洞（兵庫県豊岡市）、各地の温泉などが高く評価されました。

当初、バスの車窓から予定されていたらっきょう畑の審査では、らっきょうの植え込み作業に興味を示した審査員が、急きよバスから下車し農家から聞き取り。鳥取砂丘の地質遺産を活かしたらっきょう生産と、山陰海岸ジオパークとの結びつきを審査員に強く印象づけました。

また、審査員は、地元ガイドによる取り組みにも好感を示され、「いちば

問い合わせ先

市役所第二庁舎

鳥取砂丘・ジオパーク推進室

0857-20-3036



日本国内の世界ジオパーク



～世界ジオパークへの期待～

山陰海岸ジオパークの世界ジオパーク認定は、当館にとって大変喜ばしい大ニュースです。当館の砂像は、鳥取砂丘が形成され始めた今から約10万年以上前の古い砂「古砂丘の砂」を使用し制作しており、まさに「大地の公園」ジオパークの貴重な地質遺産を活用した、鳥取市の新しい文化と言えます。

この認定をきっかけに、世界が認めた「山陰海岸ジオパーク」における「砂の美術館」として、「砂像のまち鳥取市」のさらなる発展に貢献していきたいと思ひます。



鳥取砂丘「砂の美術館」館長 下澤武志

※鳥取砂丘「砂の美術館」については、11ページをご覧ください。



はくとかいがん
白兔海岸



こやまいけ
湖山池



あめだき
雨滝

ん良かったことは、山陰海岸ジオパークのみなさんは、ジオパークが何なのか十分に理解しているようだ」とコメント。これは、本市をはじめ、関係市町および団体が、学術的な観点のみではなく、一般向けに分かりやすく、地質遺産と自然・生活・文化などをつなげる取り組みを活動の基本としてきた成果と言えます。

地形・地質の博物館

山陰海岸ジオパークは、日本海形成から現在に至る多様な地質や地形が存在し、それらを自然背景とした特色ある文化・歴史を体験・学習できる地域で、東西約110km、南北最大30kmの範囲で取り組んでいます。

山陰海岸ジオパークは、まさに「地形・地質の博物館」と言えます。ここでは、約2500万年前にさかのぼる、日本海形成に関わる多様な火成岩類や地層、日本海の海面変動や地殻変動によって形成されたリアス式海岸や、鳥取砂丘をはじめとする多彩な海岸地形など、貴重な地形・地質遺産を数多く観察することができます。

また、ジオパークのエリア内は、古くから人々の生活の場となっていて、多彩な自然を背景とした人々の文化・歴史を学ぶこともできます。

特徴を活かした取り組み

本市では、山陰海岸ジオパークの特徴を活かし、次の4つの取り組みを推進します。

①保護・保全活動に関する取り組み

ジオパークの地形・地質遺産を保護・保全するため、関係する法律・条例の施行とともに、地域住民が主体となった鳥取砂丘のボランティア除草や一斉清掃、湖山池周辺一斉清掃などの活動支援をさらに充実させます。

②教育・調査研究に関する取り組み

ジオパークについて、自然、歴史、文化、産業などの視点から、理解を深めるため、公民館・小中学校・民間団体などへ講師を派遣するとともに、学習資料を提供し、出前講座や現地研修を支援します。

③ジオツーリズムに関する取り組み

国内外から多くの観光客を受け入れるため、観光事業者などと連携し、風光明媚な地形・地質遺産や文化を楽しみ体験する、テーマ性・ストーリー性のある観光ルートの開発と商品化を推進します。

④産業振興に関する取り組み

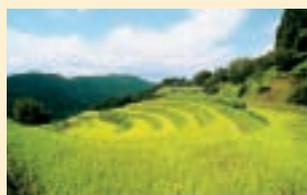
地域の産業を活性化するため、鳥取砂丘をはじめ、周辺観光地や関連産業と連携し、新たなジオブランドとして地域特産品を開発するなど、ジオパークと地場産業の連携した取り組みを推進します。



うらどめかいがん
⑤浦富海岸 (岩美町)



もろよせわん
④諸寄湾 (新温泉町)



わさぶ
③和佐父の棚田 (香美町)



げんぶどう
②玄武洞 (豊岡市)



⑥砂の美術館 (鳥取市)



山陰海岸ジオパークのエリアと主な見所



たていし
①立石 (京丹後市)